

2021年3月16日  
株式会社日本政策金融公庫

## 地域金融機関CLOを発行

～14の地域金融機関と連携し、中小企業者向け無担保資金供給の円滑化を支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）中小企業事業は、3月16日、地域経済活性化の担い手となる中小企業者への無担保貸付債権を裏付けとするCLO（貸付債権担保証券）を発行しました。本CLOは、中小企業者への無担保資金の円滑な供給を目的に、地域金融機関、日本公庫及び機関投資家による証券化手法を活用した連携商品です。

組成規模は、貸付債権額ベースで170.04億円（昨年332.32億円）、貸付社数ベースで800社（昨年1,793社）、参加金融機関数ベースで14機関（昨年30機関）といずれも前年から減少となりましたが、組成については、6年連続となりました。これは、平成16年の証券化支援業務開始以降で最長の連続組成となります。

背景としては、コロナ禍においても、担保に依存しない貸付メニューのひとつとして、地域金融機関に定着していることや、運用難の環境下、相応の利回りを確保できる商品として、機関投資家に対して認知度が高まっていることなどが考えられます。

なお、本CLOは3年連続でソーシャルボンド評価（※1）を取得し、最上位の格付けが付与されています。

日本公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも証券化手法を活用して、地域金融機関による中小企業者への無担保資金の円滑な供給を支援して参ります。

### <今回のCLO（シンセティック型（※2））の概要>

- ◆CLO発行日：令和3年3月16日
- ◆発行会社：合同会社クローバー2021
- ◆CLO発行額：164.03億円
- ◆当初貸付債権総額：170.04億円
- ◆貸付社数：800社
- ◆地域金融機関：山形銀行、七十七銀行、清水銀行、栃木銀行、北海道信用金庫、旭川信用金庫、城南信用金庫、多摩信用金庫、高山信用金庫、大阪信用金庫、姫路信用金庫、高松信用金庫、熊本信用金庫、新潟縣信用組合（計14機関）
- ◆A号社債：100億円（AAA）、利率0.29%、機関投資家が購入
- ◆B号社債：33.03億円（AA-）、利率は非公表、日本公庫が購入
- ◆C号社債：31億円（AAA）、利率0.19%、機関投資家が購入（日本公庫が元利金を全額保証）

（※1）JCR（日本格付研究所）が、本スキームの社会貢献性などを評価したもので、本件は、地域金融機関を通じた中小企業者への円滑な無担保資金供給などによる地域活性化効果が評価されました。

（※2）今回実施するシンセティック型とは、証券化対象の貸付債権を譲渡することなく、クレジット・デフォルト・スワップ（CDS）契約により、貸付債権の信用リスクのみを特別目的会社（SPC）に移転させ、証券化を行う手法です。

### <スキーム図>

